

青少年センターの班活動について
紹介します。今回は広報啓発班です。

わわわ隊 の「め」

わわわ隊のしくみ

どんなことをしているの？

「夢咲楽～和輪話通信～」
を年3回作成・発行したり、氏
家駅などで青少年健全育成
のための啓発活動をしてい
ています。

広報
啓発班

ICT
研究班

研修班

体験
活動班

あいさつ
巡回活動
(全体活動)



今回で第30号の発行となります和輪話通信「夢咲楽」。さくら市青少年センターの発足から10年の時を経た今、この広報紙の編集会議の中で、子どもから大人までいかに読みやすく内容の濃い紙面にしていくかを常に考えています。
また、氏家駅や市内各所の巡回を中心に、青少年の安全安心を確保するための啓発活動に取り組んでいます。

「夢咲楽～和輪話通信～」はどうやって作られるのか

①企画会議



「今回のテーマは…。」
「表紙のデザインは。」
市内の青少年の目覚ましい活動や主催事業等から、何を伝えたいか、構成はどうするかを真剣に討議します。

②取材



テーマに沿った記事にするため、たくさんの材料を集めます。必要に応じて、学校や活動場所へ赴き、直接話を聞いたり、写真を撮影したりします。

③編集会議



わかりやすいレイアウトか。読者にとって読みやすい内容かなど、より良い広報誌になるよう話し合い、校正をします。編集会議は、納得がいく紙面になるまで、何回も行います。

④発行



広報誌は、新聞折り込みや市内の小中高等学校を通じて、各家庭に届けます。
創刊から10周年。今回で、第30号の発行になりました。

青少年健全育成のための広報活動をしてきました

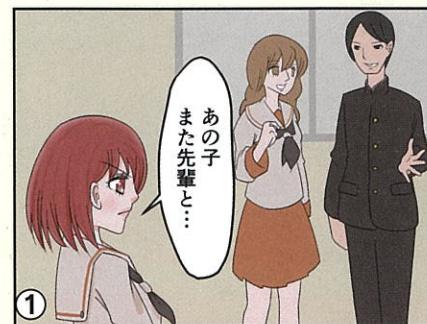
7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」でした。広報啓発班では、7月13日(水)早朝、氏家駅で強調月間の啓発活動を実施しました。

また、11月の「子ども若者支援強調月間」に合わせ、11月2日(水)早朝には、氏家駅で同様に啓発活動を実施しました。



マスキLABOの ICTワンポイントアドバイス

インターネット掲示板の巻



あまりよく考えずにインターネットの掲示板に同じクラスの友達の名前を書き込んでしまったんです…。すると、学校で問題になってしまったんです。

それはいけませんね…。悪口を書き込むことは卑怯な行為です。ましてやインターネットの掲示板は不特定多数の人に情報が伝わってしまいます。絶対にしてはいけません。



インターネットの掲示板は匿名性が高いので、ばれないと思っ
ていませんか。実は掲示板の運営会社の記録を調べれば、皆さんが使っ
ているスマートフォンやパソコンは、インターネットに接続したときに必
ず「IPアドレス」という住所のようなものが割り当てられています。そ
の記録を調べることで、掲示板に悪口や誹謗中傷、さらには犯罪予
告などをした人を特定することができます。特定された人は損害
賠償を求められたり、場合によっては逮捕されることもあります。
知らない誰かからの悪口は大変辛いものです。軽い気持ちで書き込
むのは絶対にやめましょう。

保護者の方へ

スマートフォンの普及により、気軽にネットへ書き込める掲示板を使っ
たいじめは年々増加傾向にあります。子どもたちがネットいじめの被害者
にならないように気を配るのはもちろんですが、同時に加害者になら
ないかも注意して見守る必要があります。自分やほかの人の権利を守りなが
らインターネットを利用するように指導しましょう。



青少年センターの活動

職業体験事業「企業体験」と「農業体験(稲刈り)」

7月26日(火)「ツインリンクもてぎ」に於いて、Honda Collection Hall内を見学、及び、クイズラリー、ASIMOショーの見学を実施し、同日、本田の研究所も見学を実施しました。また、9月25日(日)柿ノ木澤新田圃場に於いて稲刈り体験を行いました。



和輪話の会「講演会」のお知らせ

入場無料

〔演題〕 「サザエさん一家に学ぶ～青少年健全育成『大人になったら子どもになろう』」

〔日時〕 12月3日(土)午後2時00分～3時45分

〔場所〕 喜連川公民館ホール

〔講師〕 増岡弘氏(声優)

※アニメ『サザエさん』のマスオさんや『それいけアンパンマン』のジャムおじさん役でお馴染みの声優さんです。

また、さくら市ミュージアムに展示してあるのこぎり模型の解説もしています。



あしがき

先日行なわれた農業体験では自分たちの手で植え大きくなった稲を慣れない鎌を使って一生懸命刈る子どもたちの姿を見ることができました😊

田んぼを提供してくれたり田植え・稲刈りのことを教えてくれた川崎さんから「田植えをした後、この田んぼに自分の植えた稲の様子を見に来た子～？」と質問され、手を挙げたのはわずか数名の子どもたちでした。👏

稲は、自分たちの知らない間に勝手に大きくなる訳ではありません！農家の方々は、雨の日も、風の日も稲を見守り、生育によってこまめに水の管理をしたり、雑草や害虫から稲を守ったりしています。だからお米一粒ひとつぶには、たくさんのお思いが込められています。子どもたちにもそのことを感じてもらいたいな～と思うと同時に、わたしたちわわわ隊も、子どもたちの日々成長する姿に寄り添って、見守って行きたいと感じました。

“わわわ隊” 大河原千晶😊

「わわわ隊」とは

「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」という、青少年センター少年指導員のみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。

■ 広報啓発班

飯島 満・大河原 千晶・岡村 浩雅・福田 克之・村上 佳彦

さくら市の子どもを
みんなで育てよう

第3日曜は
家庭の日

ゆめさくら わわわつしん
夢咲楽～和輪話通信～ 第30号
発行日 平成28年11月15日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川14420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyuu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp

次のゆめさくら～わわわつしんは平成29年2月に発行予定です

ゆめ

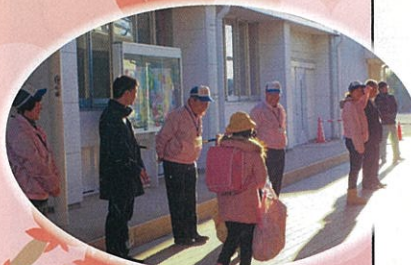
さくら

夢咲楽

～和輪話通信～

目次	■ 11月は「子ども・若者育成支援強調月間」です……1	■ マスミLABOのICTワンポイントアドバイス「インターネット掲示板の巻」……3
	■ わわわ隊の「め」……2	■ 青少年センターの活動……4

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」です



とちぎの子ども育成憲章

明日を担う子どもたちが 夢と希望を持ち
心豊かでたくましく成長することは 県民すべての願いです

わたしたちは 子育てに積極的にかかわり
子どもたちをみんなで育てていく決意を込め ここに憲章を制定します

わたしたちは

一、子どもたち一人ひとりを尊重し 命を大切にします

一、子どもたちとのかかわりを深め
思いやりの心をはぐみます

一、子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい
社会の一員としての自覚を育てます

一、一人ひとりが子どもたちの手本となるよう行動します

一、とちぎの豊かな自然 伝統 文化を守り
子どもたちに引き継ぎます

平成22年2月9日
栃木県

さくら市青少年センター少年指導員会は、「とちぎの子ども育成憲章」の具現化を目指して、地域における青少年の健全育成のための様々な活動をしています。